

# ユネスコエコパーク

(生物圏保存地域：Biosphere Reserves)

ユネスコエコパークとは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的として、1976年（昭和51年）にユネスコが開始しました。ユネスコの自然科学セクターで実施されるユネスコ「人間と生物圏（MAB:Man and the Biosphere）計画」における一事業として実施されています。

地域の豊かな生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶと共に、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指す取り組みです。

ユネスコエコパークは人間と自然の共生に率先して取り組んでいる地域として、国際的に認定された地域のモデルとして注目されています。

## 世界のユネスコエコパーク



レッドベリーレイク(カナダ)



北ヴォージュ・ブファルツバルト(フランス・ドイツ)



綾(日本)



レーン(ドイツ)

- ユネスコエコパークとは国内通称で、海外では「BR:Biosphere Reserves(生物圏保存地域)」と呼ばれています。
- ユネスコ(UNESCO:国際連合教育科学文化機関)  
教育、科学、文化の発展と推進を目的として、1946年(昭和21年)に設立された国際連合の専門機関。
- MAB(Man and the Biosphere Programme:人間と生物圏計画)  
生物多様性の保護を目的に、自然及び天然資源の持続可能な利用と保護に関する科学研究を行うユネスコの事業。

# ユネスコエコパーク 3つの機能と3つの地域

## ユネスコエコパーク3つの機能

ユネスコエコパークには3つの機能があります。個々の機能は独立のものではなく、ユネスコエコパークを相互に強化する関係です。この3つの機能を果たすために3つの地域を設定しています。

### 保存機能

人間の干渉を含む生物地理学的区域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全上重要な地域

### 学術的研究支援

持続可能な発展のための科学的な調査や研究、教育・研修の場を提供している

### 経済と社会の発展

自然環境の保全と調和した持続可能な発展の国内外のモデルとなりうる取組が行なわれている

## ユネスコエコパーク3つの地域

ユネスコエコパークは役割の異なった3つの地域で構成されています。



### 核心地域

多くの動植物が生息している自然豊かな地域。各国の法律により厳しく保護され、長期的に保全されることが必要な地域です。

### 緩衝地域

核心地域の周囲または隣接する地域で、核心地域を守る機能を果たします。実験的研究、教育や研修、森林セラピー、エコツーリズムなど、自然の保全・持続可能な利活用への理解の増進、将来の担い手の育成等が行われています。

### 移行地域

人々が居住し生活を営んでおり、自然環境の保全と調和した持続可能な地域社会の発展のためのモデルとなる取組が行われています。

# 日本のユネスコエコパーク

ユネスコエコパークは、世界では119か国、631地域が登録されています。日本では、7地域が登録されており、その核心地域や緩衝地域は、国立・国定公園や国有林の保護林として保全されています。(2014年6月現在)

## 日本のユネスコエコパーク

日本のユネスコエコパークは、1980年(昭和55年)に登録された、志賀高原(長野県、群馬県)、白山(石川県、岐阜県、富山県、福井県)、大台ヶ原・大峯山(奈良県、三重県)、屋久島(鹿児島県)及び2012年(平成24年)に登録された綾(宮崎県)、2014年6月11日に正式登録承認された福島県只見地域、南アルプスユネスコエコパークを加え現在7カ所があります。その核心地域や緩衝地域は、国立・国定公園や国有林の保護林として保全されています。



### 只見ユネスコエコパーク

所在地:福島県  
登録:2014年(平成26年)  
面積:78,032ha

ブナをはじめとする落葉広葉樹林のほか、針葉樹林、低木林及び草地等により構成されるモザイク植生が、原生的な状態で広大な面積に存在する。豊かな自然を活かした農林水産業やエコツーリズムを展開。地域に受け継がれてきた自然や天然資源をよりどころとした伝統的な人々の暮らしや文化を活用し、地域の社会経済的發展を目指している。



自然資源の利用-ゼンマイ折り

### 大台ヶ原・大峯山ユネスコエコパーク

所在地:奈良県・三重県  
登録:1980年(昭和55年)  
面積:36,000ha

大峯山脈は、紀伊半島の「近畿の屋根」と呼ばれる奥深い山岳地域。大台ヶ原は、日出ヶ岳を最高点としたゆるやかな起伏が続く台地で、豪雨によって削られた絶壁や滝などの雄大な景観が見られる。古来より神霊や祖霊の住む聖地として守られ、多くの遺跡などの文化的資源や原生的な自然が残されている。参詣客や観光客、登山者に利用されている。



大台ヶ原・大峯山 大杉谷自然学校

### 志賀高原ユネスコエコパーク

所在地:長野県、群馬県  
登録:1980年(昭和55年)  
面積:30,300ha

志賀高原は年間約200万人を越える人々が訪れる日本有数の観光地。1960年代以降にスキー場を中心とした急速な開発が進められてきた一方で、幽玄な亜高山性針葉樹林に美しい湖沼や高層湿原が点在している。豊かな自然を活用したエコツーリズムに加え、環境教育にも活用されている。



横手山山田峠

### 綾ユネスコエコパーク

所在地:宮崎県  
登録:2012年(平成24年)  
総面積:14,580ha

照葉樹自然林が日本最大規模で残されているほか、標高約1,200m以上の地帯には夏緑広葉樹のブナが優占する自然林が現存。原生的な森林生態系の保護、照葉樹自然林の復元、自然と共生する地域づくり等を目的とする「綾の照葉樹林プロジェクト」を推進。有機農業等との連携でのエコツーリズムを通じ、自然と人間の共存に配慮した地域振興策等を実施。



手づくりほんものセンター

### 南アルプスユネスコエコパーク

所在地:山梨県、長野県、静岡県  
登録:2014年(平成26年)  
総面積:302,474ha

3,000m峰が連なる急峻な山岳環境の中、固有種が多く生息・生育する自然環境を有する。富士川水系、大井川水系及び天竜川水系の流域ごとに古来より固有の文化圏が形成され、伝統的な習慣、食文化、民俗芸能等を現代に継承している。自然体験フィールドの提供や、エコツーリズムの推進、地域の農林水産物のブランド化に取り組んでいる。



北岳学校登山

### 屋久島ユネスコエコパーク

所在地:鹿児島県  
登録:1980年(昭和55年)  
面積:18,958ha

屋久島は九州最高峰の宮之浦岳をはじめとした山々で形成される山岳島。亜熱帯性植物を含む海岸植生から、冷温帯性のササ草地や高層湿原に及ぶ植生の垂直分布が保持され、特異な生態系を形成している。また、樹齢1,000年を超えるヤクスギ等の巨樹からなる森林もみられる。年間約30万人が訪れ、エコツーリズムが行なわれている。



黒味・宮之浦岳

### 白山ユネスコエコパーク

所在地:石川県、岐阜県、富山県、福井県  
登録:1980年(昭和55年)  
面積:48,000ha

2,000m級の山々が続く山脈を中心にした多雪山岳地域。万年雪が残り、山頂部は高山植物の宝庫として知られ、広大なブナの原生林の広がりとともに生息する多くの野生動物たち、深い谷間から山麓にかけて数多く噴出する温泉群がある。古くから信仰の山として親しまれ、年間4万人ほどが訪れ登山を中心としたレクリエーションに利用されている。



大野市 刈込池(提供:白山ユネスコエコパーク協議会)

Biosphere Reserves  
of Japan

# 南アルプス ユネスコエコパーク

## Minami-Alps Biosphere Reserve

### ～高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性～

南アルプスは3,000m峰が連なる急峻な山岳環境の中、固有種が多く生息・生育するわが国を代表する自然環境を有しています。富士川水系、大井川水系及び天竜川水系の流域ごとに古来より固有の文化圏が形成され、伝統的な習慣、食文化、民俗芸能等を現代に継承してきました。

従来、南アルプスの山々によって交流が阻まれてきた3県10市町村にわたる地域が、「高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性」という理念のもと、南アルプスユネスコエコパークとして結束。

南アルプスの自然環境と文化を共有の財産と位置づけるとともに、優れた自然環境の永続的な保全と持続可能な利活用に共同で取り組むことを通じて、地域間交流を拡大し、自然の恩恵を活かした魅力ある地域づくりを図ることを目指しています。

### ユネスコエコパーク登録までの流れ

2013年9月	南アルプスがユネスコエコパークに国内推薦されることが決定
2013年9月末	ユネスコMAB事務局に申請書を提出
2014年3月	ユネスコの生物圏保存地域国際諮問委員会が審査
2014年4月	審査結果をMAB計画国際調整理事会に勧告
2014年6月	スウェーデンで開催された第26回ユネスコMAB計画国際調整理事会で審査・登録決定

### 南アルプスユネスコエコパーク構成市町村

[山梨県] 韮崎市・南アルプス市・北杜市・早川町

[長野県] 飯田市・伊那市・富士見町・大鹿村

[静岡県] 静岡市・川根本町

# 南アルプスの高い山、深い谷が育む 生物と文化の多様性

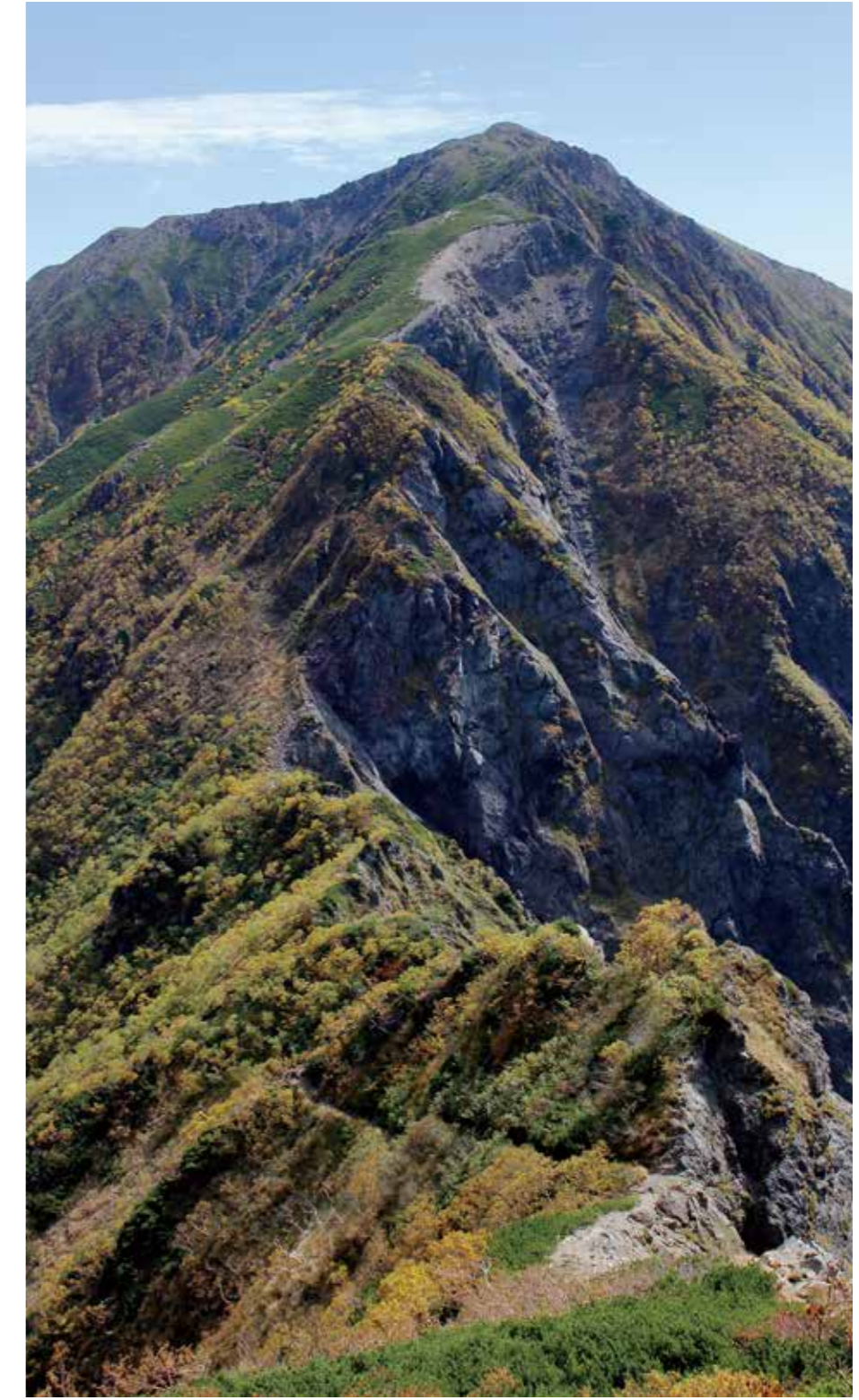
～地形・地質と自然～

## 隆起しつづける山地

南アルプスは100万年ほど前から活発な地殻活動によって急速に隆起した非火山性の構造山地です。現在でも年間約3～4mmの速度で隆起をつづけ、その速度は世界でもトップレベルです。



南アルプス北部の山々



聖岳の崩壊地

## 削られる山地

山地の急速な隆起に加え、多雨地帯という特徴から山地の浸食、崩壊が多く見られます。



小仙丈ヶ岳のカール地形

## 氷河・周氷河地形

南アルプスの3,000m付近の高山域には2万年前頃に造られた小規模な氷河・周氷河地形が残されています。

## 標高2,700mまでつづく森と生き物たち

南アルプスの森林限界は2,700m程度と高く、これは気象や地質の影響によるものです。また、低標高から高山帯にかけて顕著な垂直分布が見られ、豊かな森林に多様な動植物が生息しています。



シラビソ林



ショウジョウバカマ



ウラジロナナカマド



ルリビタキ



ゴゼンタチバナ



タマガワホトギス



ヤマトイワナ



クモツマキチョウ  
(提供:清水准一氏)



ヤマネ  
(提供:石原誠氏)



カモシカ



キタダケソウ



ライチョウ

## 氷河期の生き残りと固有種

南アルプスには、氷河期に分布を広げ、その後温暖になっていく過程で気温の低い高山に残ったとされる生物が見られます。

また、南アルプスやその周辺地域にのみ分布している固有種が多いことも特徴です。

# 南アルプスの高い山、深い谷が育む 生物と文化の多様性 ~自然と人間のかかわり~

## 山岳信仰

古来より南アルプスの山々は信仰の対象とされてきました。鳳凰山信仰や北岳信仰などがあり、修験者が開いた登山道も数多く残されています。



甲斐駒ヶ岳の刀利天狗の社



地藏ヶ岳の子授け地藏

## 近代登山と 山の案内人たち

明治時代から近代登山が始まりました。地元住民らが山の案内人として登山者を安全に山へ導きました。



北岳岩小屋



山の案内人

## 山の暮らし

山間地域では、雑穀などを栽培する焼畑耕作、野生動植物の狩猟・採取、木材生産、製炭、鉱山などが行われてきました。



焼畑農業（静岡市井川）



焼畑農業（早川町奈良田）



森林鉄道（飯田市）

## 今も受け継がれる伝統文化・芸能

南アルプスユネスコエコパークでは伝統的な祭事や民俗芸能が今も大切に伝承されています。



井川メンバ（静岡市井川）



大鹿歌舞伎（大鹿村）



霜月祭り（飯田市）

# 山でつながる10の市町村

南アルプスユネスコエコパークでは、南アルプスの自然環境と文化を構成市町村の共有財産として位置づけ、地域間の交流を拡大し、優れた自然環境の持続的かつ永続的な保全管理・利活用に共同で取り組み、自然の恩恵を活かした魅力ある地域づくりを行うことを目的として活動を行なっています。

## ～南アルプスユネスコエコパーク基本合意～

### ① 南アルプスの自然環境保全

- ・自然環境保全(鳥獣被害対策含)と登山環境整備
- ・南アルプス(登山)ルールの策定と周知

### ② 南アルプス山麓の地域間交流の拡大による地域活性化

- ・南アルプス山麓への定住促進
- ・地域住民による南アルプスツーリズムの振興(住民間の交流、特産品開発と発信)
- ・優れた自然環境を生かした産業の育成

### ③ 南アルプスユネスコエコパーク憲章の策定

- ・構成市町村が将来にわたってユネスコエコパークとしての共通認識を保持する

### ④ 地域の情報発信

- ・各構成市町村の持つ魅力や情報を国内外へ発信

### ⑤ 南アルプスユネスコエコパーク地域の永続的な管理運営体制の確立



南アルプスユネスコエコパーク基本合意締結式 (2013/8/17)

## 地域間交流

長野県伊那市と山梨県側の市町では県境である北沢峠で市民の交流を兼ねた自然観察会を開催。



県境で握手会

## 10の市町村職員の連携を深める活動

ユネスコエコパーク構成10市町村担当者や関係者が、「南アルプスカレッジ」と題し、南アルプスの自然や各地域の魅力ある資源を再確認し、今後の取組みの参考とすることを目的にした活動を開催。



下栗案内人の会  
(飯田市)

## 普及活動

南アルプスの魅力を多くの方に知ってもらうために「南アルプスフォーラム」や「南アルプス学講座」を開催。



南アルプスフォーラム(大鹿村)



南アルプス学講座



赤沢宿(早川町)

# 自然環境保全

## ～南アルプスのニホンジカ対策～



南アルプスに生息するニホンジカは、近年急激に数を増やし、高山帯から山麓に至る広い範囲で植生等へ影響をもたらしています。南アルプスユネスコエコパークでは、ニホンジカ対策について行政枠を超えて情報を共有しあいながら対策を行なっています。

### 3,000m級の山々でのシカ対策



自動撮影装置による生息状況調査  
(仙丈ヶ岳)



土壌流出防止ヤシ殻マットの敷設  
(塩見岳)



防鹿柵設置作業  
(荒川岳:南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク)

### 2,000m級の山々でのシカ対策



防鹿柵設置作業  
(櫛形山)



防鹿柵設置作業  
(甘利山:甘利山倶楽部)



入笠山のスライド式防鹿柵ゲート

### 山麓域でのシカ対策



信州ジビエ  
(大鹿村他)



地域ぐるみの対策の取組  
(南アルプス市)



わな講習会  
(南アルプス市)



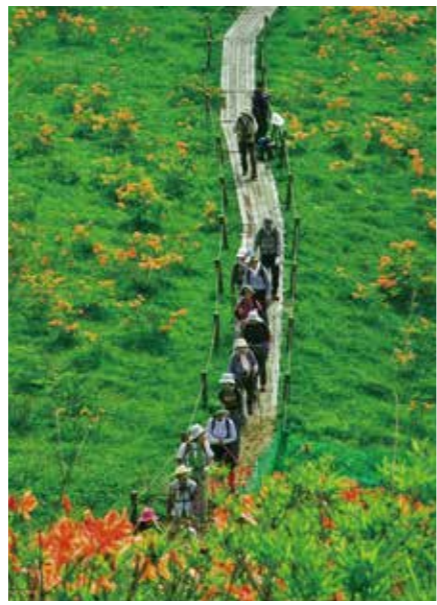
# 南アルプスユネスコエコパーク 構成10市町村の紹介

## 山梨県

### 韮崎市

(甘利山)

鳳凰三山の中腹に位置する甘利山。6月中下旬に咲くレンゲツツジは山頂一帯を真紅に染めます。富士山をはじめとする360°の大パノラマは圧巻です。



## 長野県

### 飯田市

(飯田市上村・南信濃地区)

飯田市東部の山深い谷には、豊かな自然と歴史、笑顔あふれる人情が“あるがまま”残っており、古くから遠山郷と呼ばれています。



## 静岡県

### 静岡市

(葵区井川地区)

ダム建設時の廃線の上を歩く遊歩道や秘湯赤石温泉、SL・アプト式鉄道で有名な大井川鐵道の終着駅がある静かでのんびりとした山里です。



### 南アルプス市

北岳など白根三山の本格登山、櫛形山日帰りトレッキングなどが楽しめ、山麓ではスモモや桃などのもぎたてフルーツを味わえます。



### 伊那市

南アルプスと中央アルプスの3,000m級のパノラマが広がり、春には白い峰をバックに「日本三大桜」の一つ、高遠城址公園の桜が楽しめます。



### 川根本町

銘茶川根茶と美しい自然と温泉、日本唯一のアプト式鉄道を有する南アルプスあぶとラインとSLが走る町です。



### 北杜市

(白州・武川地区)

名水百選尾白川・日本の滝百選精進ヶ滝を要し、ミネラルウォーター生産量日本一、梨北米は特A受賞、西に甲斐駒ヶ岳を仰ぐ自然豊かな地です。



### 富士見町

(入笠山地区)

100万輪のすずらんやヤナギランなど山野草の宝庫、入笠湿原。八ヶ岳山麓の創造の森からは富士山、南アルプス、北アルプスの山並みが望めます。



### 早川町

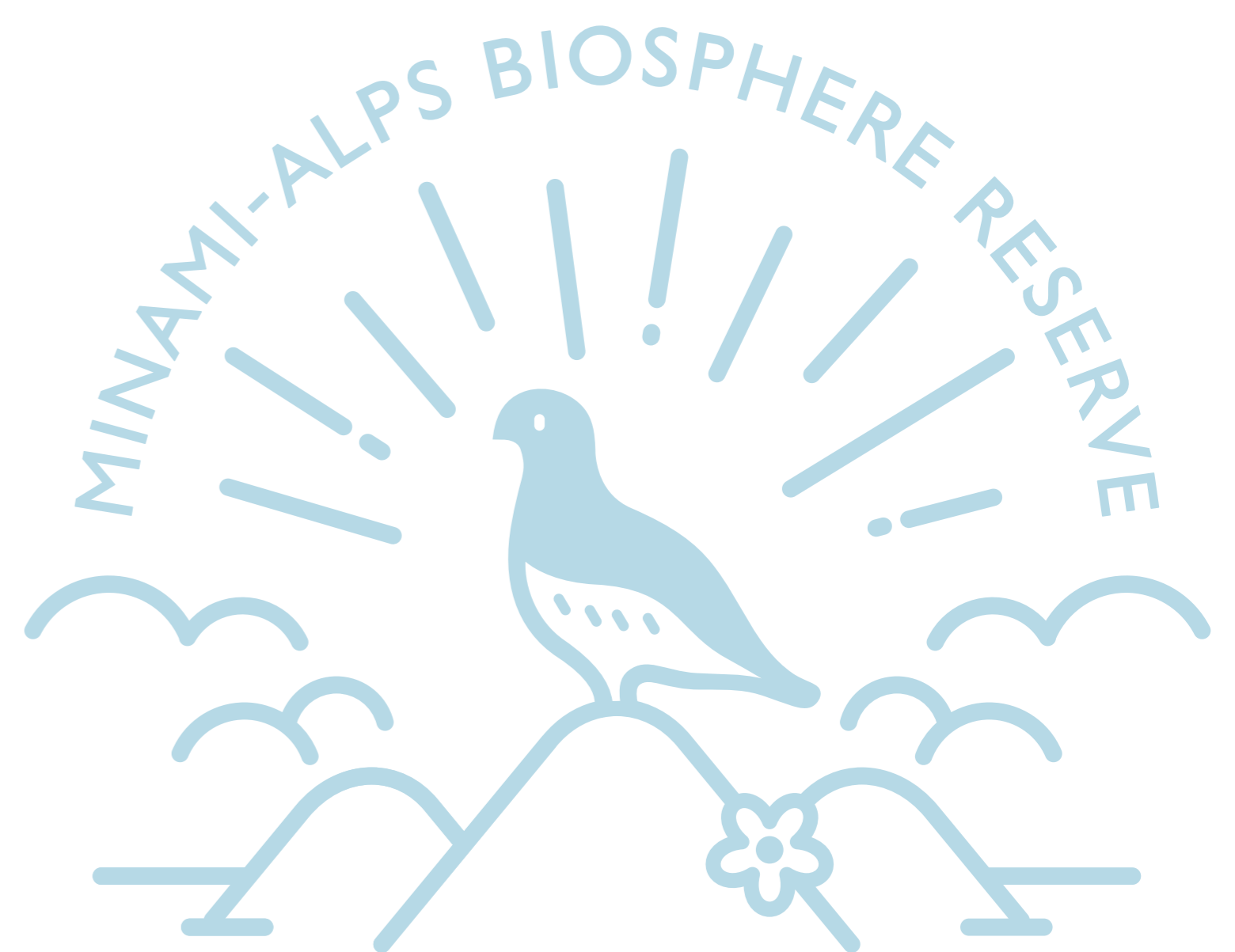
山梨県の南西部に位置し、南アルプスの峰々に抱かれた山間の町です。四季折々の変化は鮮やかで、新緑や紅葉の時期は特に美しい町です。



### 大鹿村

(村内)

南アルプスの雄大な自然に囲まれた大鹿歌舞伎。明和4(1767)年に上演された記録が残る地芝居で、国選択無形民俗文化財に指定されています。



南アルプスの高い山々と深遠な溪谷に育まれた  
自然・歴史・文化・人との出会いを求めて。

# ユネスコエコパークエリアマップ

## 南アルプス

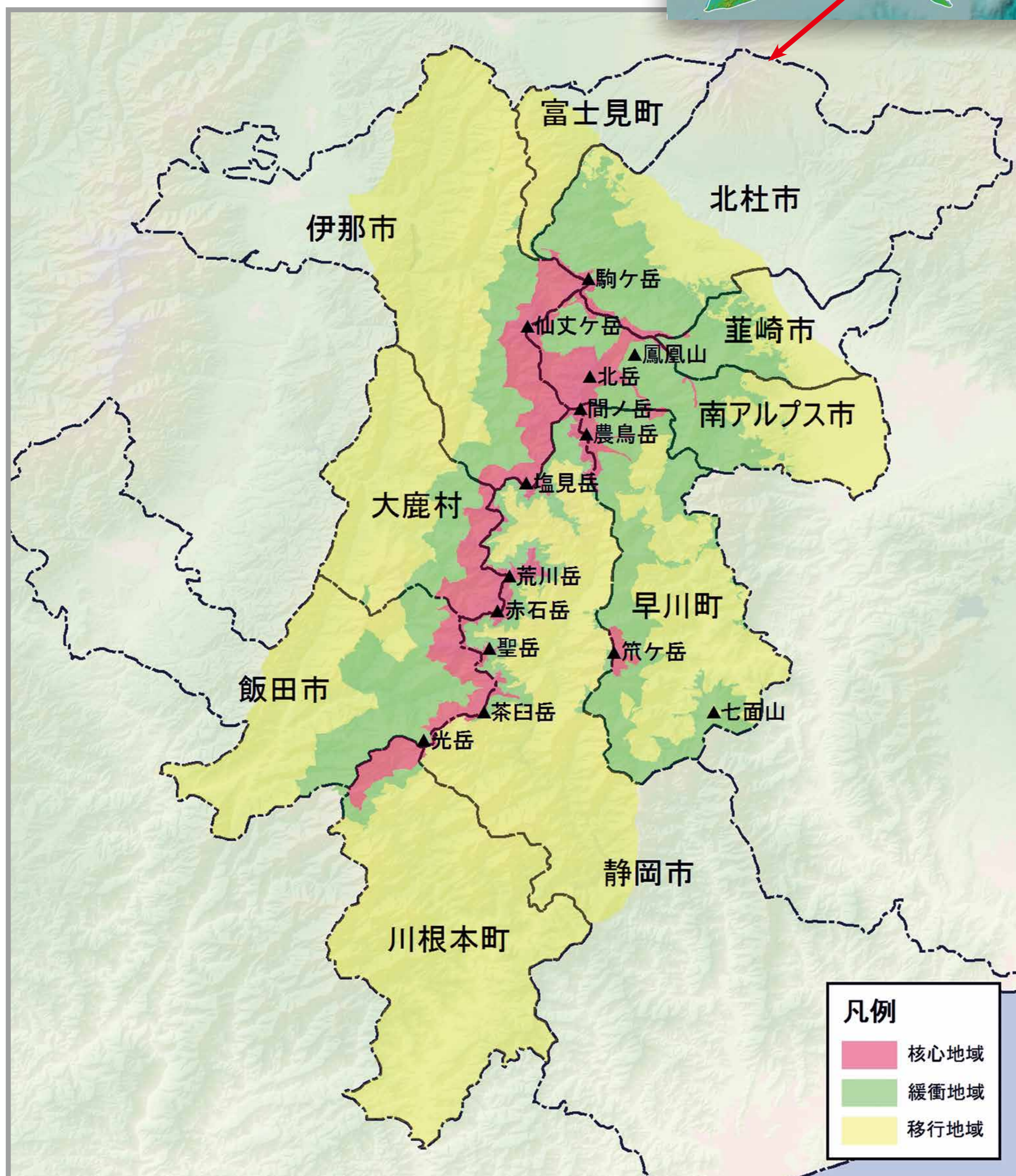
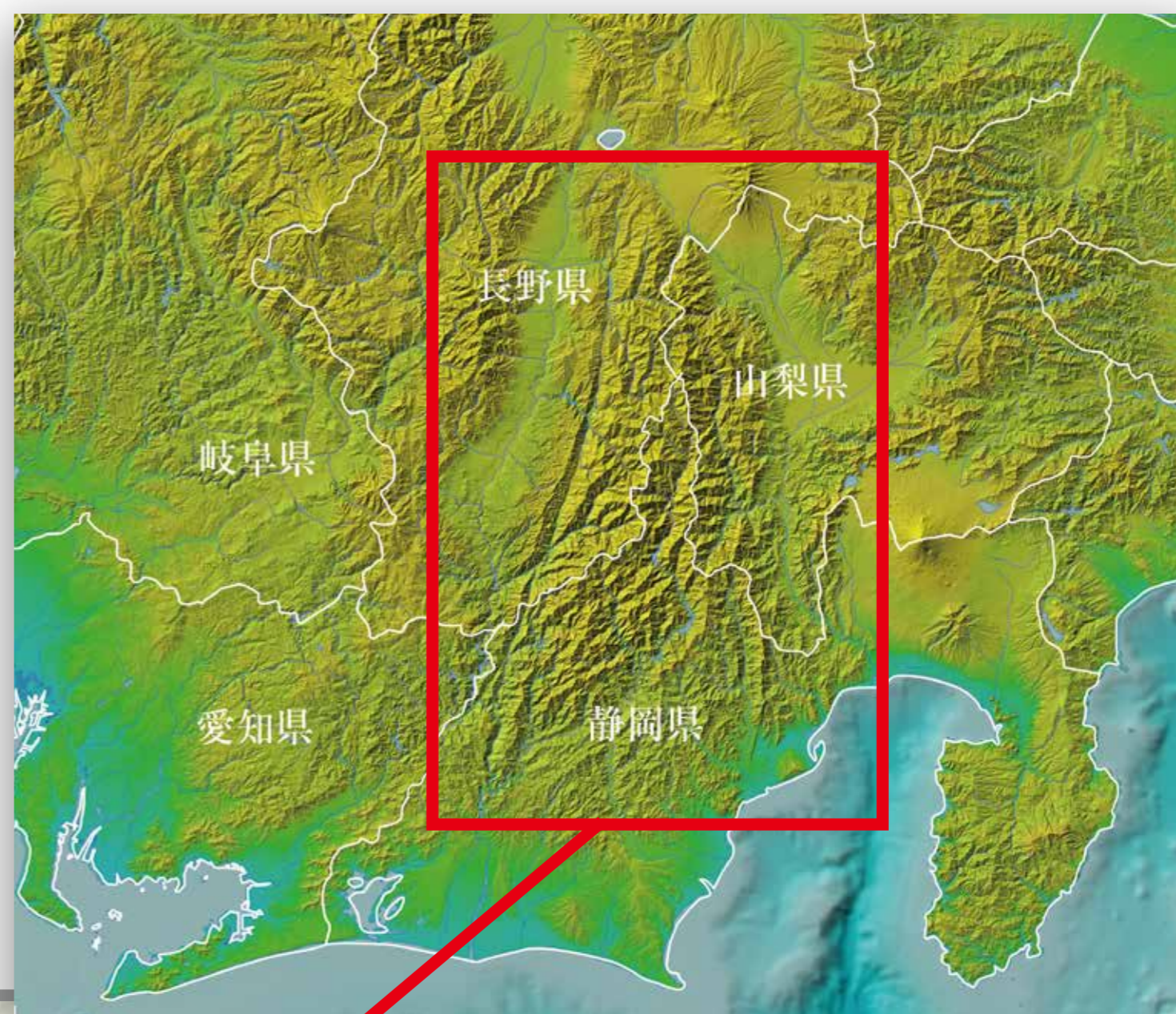
### ユネスコエコパーク面積

総面積 302,474ha

核心地域 24,970ha

緩衝地域 72,389ha

移行地域 205,115ha



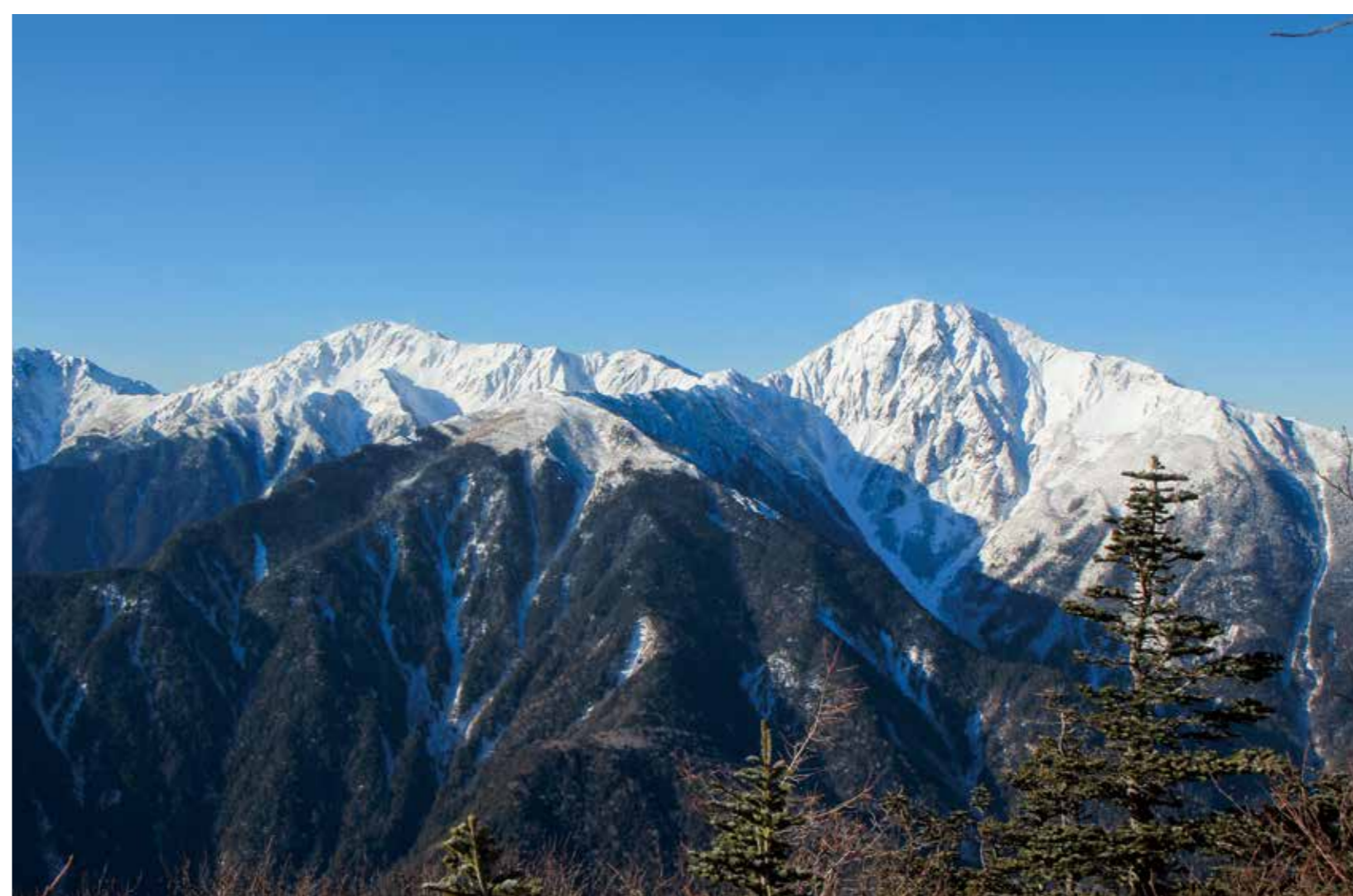
# 核心地域

南アルプスを代表する3,000m級の山々の山岳景観や原生的な自然環境、貴重な動植物の生息地を有し、南アルプス国立公園、大井川源流部原生自然環境保全地域や南アルプス南部光岳森林生態系保護地域に設定され、適切に保護されている地域です。

## 自然や文化を守る



赤石岳と前岳のお花畑



冬の白峰三山



ホシガラス



タカネマンテマ



ミヤマキンバイ



ミヤマハナシノブ



登山者と白峰三山



ライチョウ生息分布調査



登山者への情報提供  
(野呂川広河原インフォメーションセンター)



マイカー規制



研究機関による植生調査

# 緩衝地域

核心地域の周囲、または隣接する地域。南アルプス国立公園や山梨県立南アルプス巨摩自然公園等に設定され、適切に保全されながら環境教育などが行なわれている地域です。

## 自然や文化を学び、伝える



甘利山のレンゲツツジ(韭崎市)



楡形山の原生林(南アルプス市)



自然観察指導員の育成(南アルプス市)



トムソーヤキャンプ(静岡市)



南アルプスジオツーリズム(飯田市)



甘利山の保全活動(甘利山倶楽部)

# ユネスコスクールの活動

～芦安小学校・芦安中学校～

ユネスコエコパークはESD(持続可能な開発のための教育)の学習の場として位置付けられており、ユネスコエコパーク、ESD、ユネスコスクールの取組を連携させることによる相乗効果が期待されています。

## ユネスコスクールとは

ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校です。

南アルプスユネスコエコパークでは南アルプス市の芦安小学校と芦安中学校がユネスコスクールに加盟しています。

南アルプスの豊かな自然や小規模校の特性を活かして様々な活動を展開しています。

### 芦安小学校

自然体験教室、学校林植林活動、夜叉神峠登山、農作物の栽培など

### 芦安中学校

学校林植林活動、学校登山、自然パトロール、夜叉神太鼓への取組など



学校林植林活動(芦安小学校)



夜叉神峠登山(芦安小学校)



学校林植林活動(芦安中学校)



自然体験教室(芦安小学校)



夜叉神太鼓(芦安中学校)



学校林植林活動(芦安中学校)



農作物の栽培(芦安小学校)



学校登山(芦安中学校)

# 移行地域

山地斜面に広がる集落景観、自然と調和した農業や歴史、文化を生かしたエコツーリズムなどが行なわれている地域です。

## 自然や文化を利活用し、経済的な活動を営む



豊かな水資源を利用した稲作(北杜市)



標高約1,000mの深い渓谷にある下栗の里(飯田市)



徳山鹿ん舞(川根本町)



ヤマメ祭り(静岡市)



花々に彩られる入笠湿原(富士見町)



生き物の生態に迫る体験ツアー(早川町)



山塩(大鹿村)



川根茶(川根本町)

# 南アルプス市のユネスコエコパーク

## 核心地域

北岳をはじめとする3,000m級の山々と貴重な生物たちが生息し、自然保全活動や登山のマナーや安全に対する普及活動等を行っています。



日本第二の高峰北岳(3,193m)



高山植物のお花畑(北岳)



登山教室(芦安ファンクラブ)



ヤマトイワナ保全活動



広河原開山祭

## 緩衝地域

楡形山での保全活動や自然観察会の実施、山岳ガイドの育成やユネスコスクールの活動等が行われています。



楡形山保全活動



自然観察会



山岳ガイドの育成

## 移行地域

扇状地に広がる桃畑の景観や歴史や文化が継承されています。特産品であるフルーツのブランド化や商品開発が行われています。



桃畑と間ノ岳



御勅使川の歴史を学ぶ



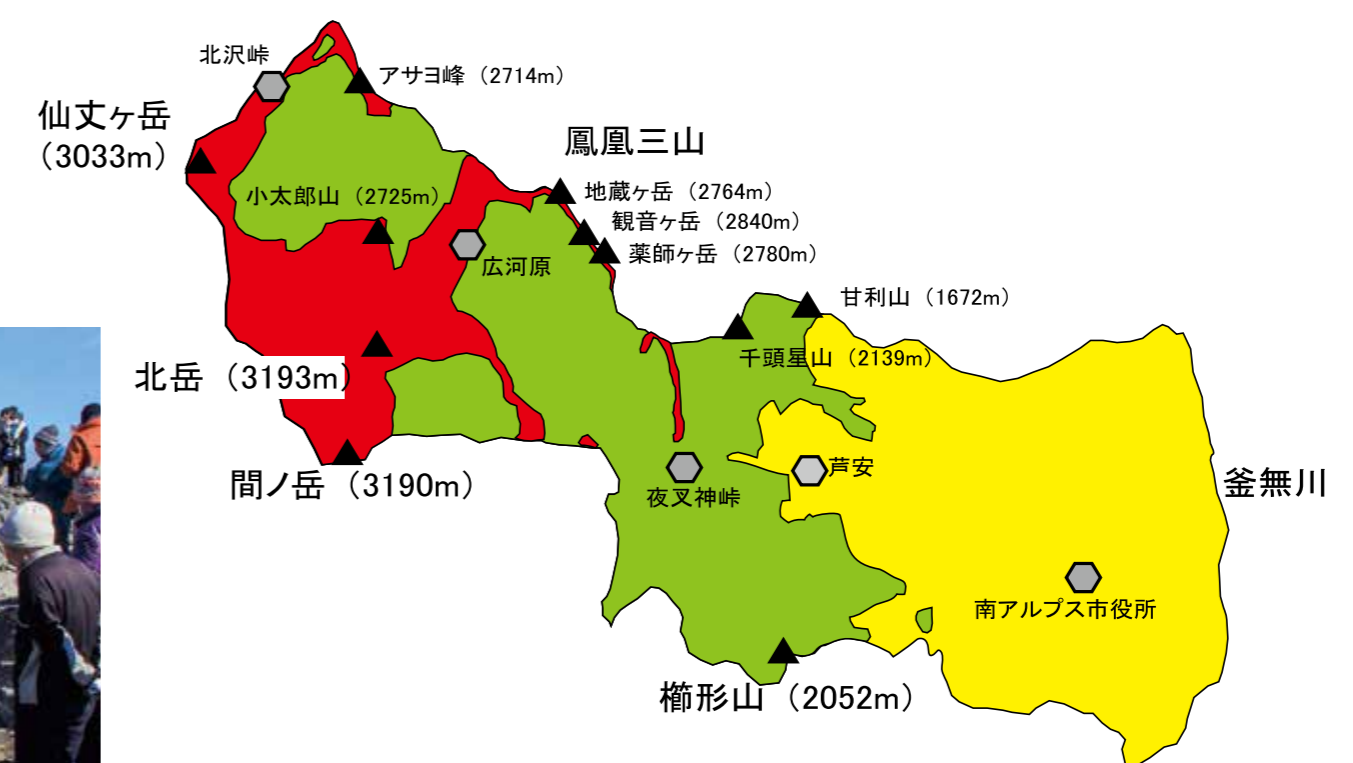
スモモ貴陽



安藤家の雛祭り



特産品を生かした商品開発

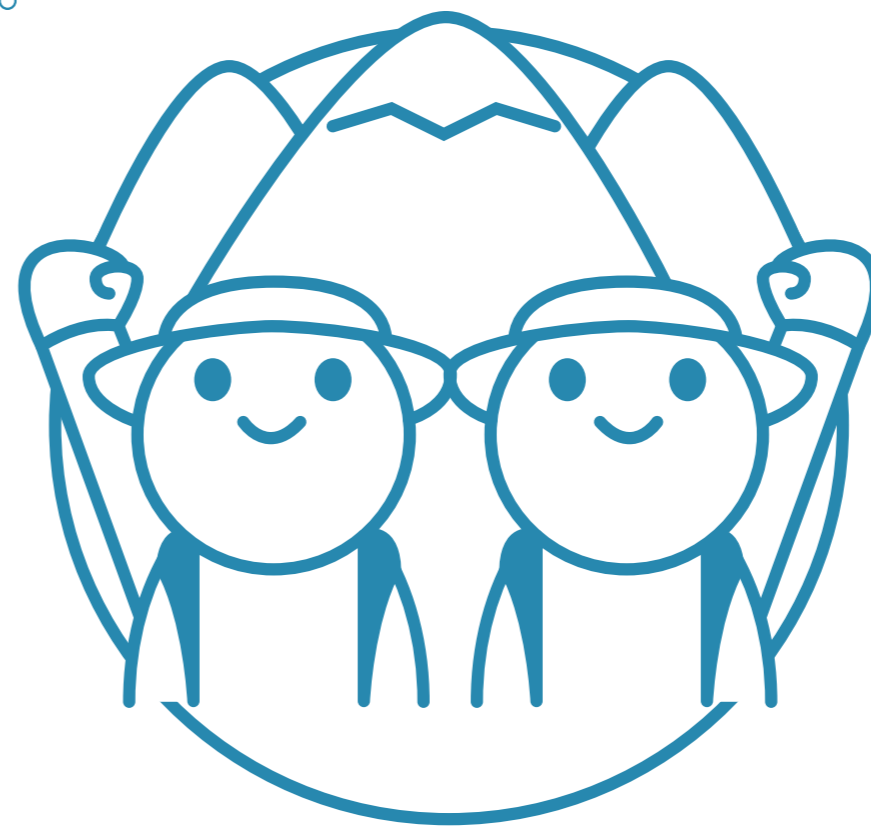


# ユネスコエコパークの魅力

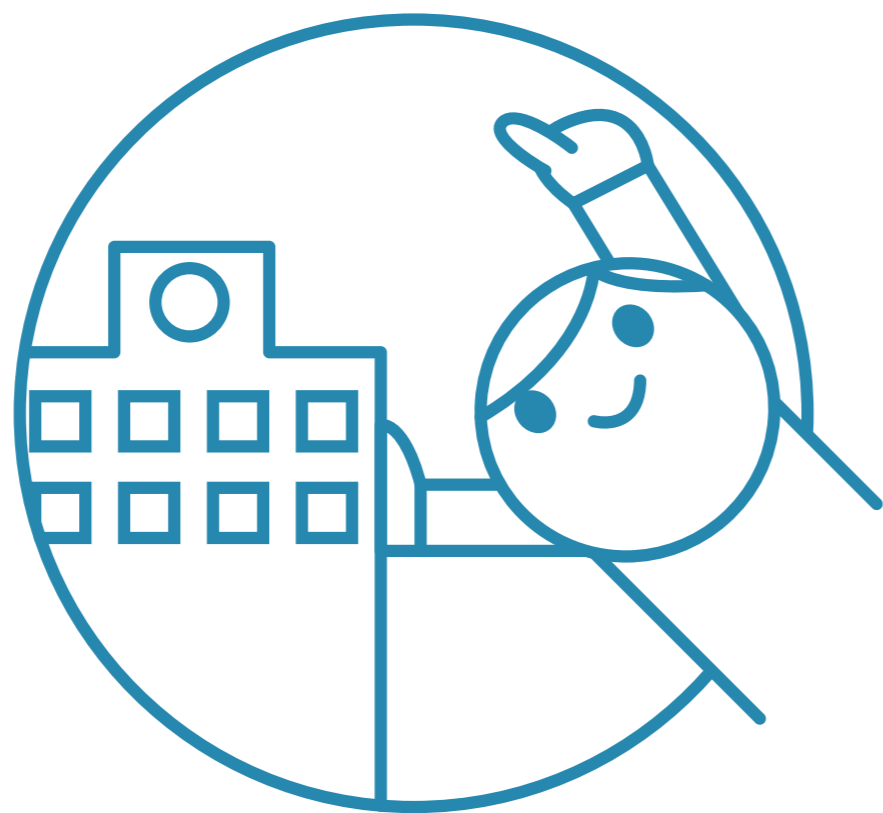
「ユネスコエコパーク」として、地域の魅力を世界へ発信することで、国内外からの観光客の増加を期待できます。



南アルプスの山岳環境を永続的に保全していく体制づくりを行い、豊かな自然環境を守り伝えていくことができます。



新しい法律や制度はありません。国内の既存の法律などで管理されます。



自然と調和した持続可能な地域社会の発展に向けた取り組みが行なわれます。



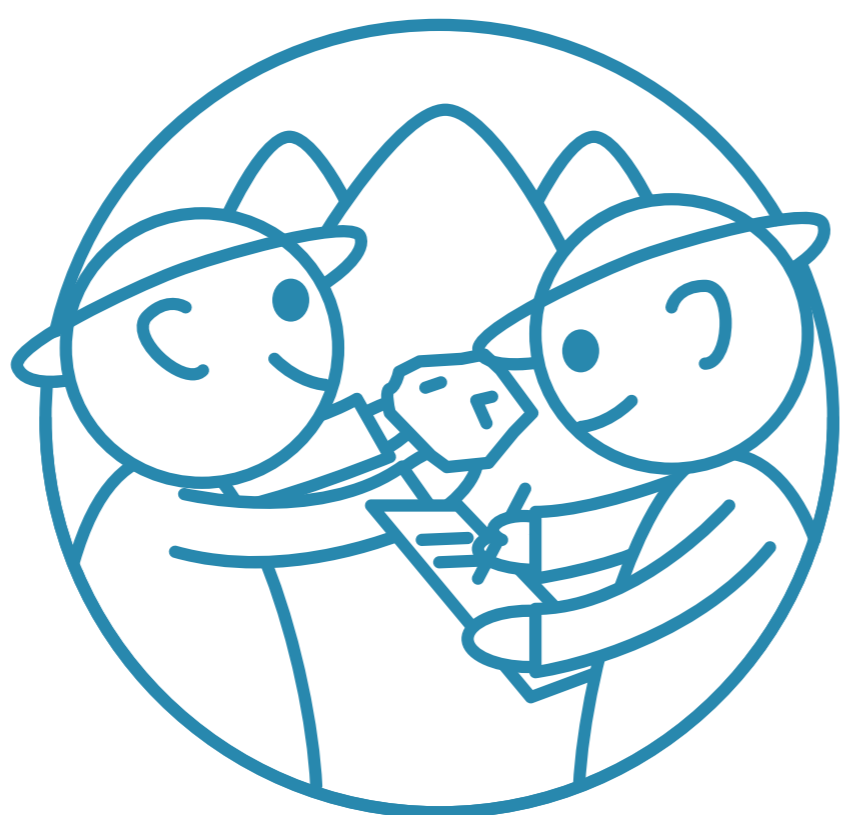
南アルプスの山々によって交流が阻まれてきた3県10市町村の地域間交流を進めることにより、お互いの地域への理解を深めることができます。



地域の自然を学び、ふるさとを大事にする心を育てる環境教育の場として活用できます。



世界的な学術研究のフィールドとして積極的に活用されます。



HAPPY  
ECO PARK

